

## 地域人教育(飯田OIDE長姫高等学校)



丸山地区

平成24年に飯田OIDE長姫高校と松本大学と飯田市の3者がパートナーシップ協定を結び、地域人教育を始めて今年度で11年となります。

地域人教育の「地域人」とは、地域を「愛し」、「理解」して、地域に「貢献」する人材を育てていく事を指します。

地域人教育では、自分が暮らす地域で、周りの方々と良好な関係を築きつつ、常に当事者意識をもって地域づくりに関わろうとする人材を育成していくことを目的としたカリキュラムです。

3年生は毎年地区での実践を実施しており、今年度は、7地区(羽場・丸山・座光寺・龍江・鼎・上郷・全市)3テーマ(ムトスぶらざ・サウナ・空き家)10のグループに分かれ、それぞれの研究を進めました。

12月21日に1年生から3年生の商業科全生徒により成果発表会が実施され「卒業した後も関わった地域に訪れたい。」…発表の最後に生徒から嬉しい発言もありました。

各グループとも地域を感じ、様々な経験を重ねることで、自身の価値観を広げ、地域と関わる大切さを学びました。



座光寺地区



龍江地区

## 参加した高校生の声

地域に出て話をしたり計画を立ててみると、**普段座学で学んでいる商業の授業の大切さ**がわかります。地域に出るとで授業も好きになりました。

考え方の異なる人々との協力や交流を通して、**自分の世界観を広げていくことが楽しい。**

飯田は私たちのやりたいことを地域の人々が応援してくれる場所、**自分のやりたいことが実現できる場所**なんだと感じています。

考え方の異なる人々との協力や交流を通して、**自分の世界観を広げていくことが楽しい。**

私たちは地域に出て学んでいます。でもはじめは「遊んでいます」と言われ、親から理解されませんでした。**学校での学び方自体が変化していることを、大人の人たちには知ってほしい**と思います。

## 探究学習「結いプロジェクト」(飯田風越高等学校)



飯田駅前に新たな公共空間が整備されることを受け、丘の上にある唯一の高校として、新たな交流の軸を共に考えようと、令和3年度長野県教育委員会の事業である「学校×KDDI 共創プロジェクト」にて昨年度2年生12名がムトスぶらざの活用について検討をしてきました。成果として本年度5月ムトスぶらざオープニングでは、施設案内や活用の提案をしました。

今年度は、現在の2年生20名がその活動を引き継ぎ、様々な年代の人が交差する場の創設を目指し、アイデアを形(イベント)にしました。

全員で目的や課題を共有しながら、実際どのような活動をおこしていくのか検討し、5グループがつながりを大切に様々な活動を展開しました。2月9日には成果発表会が開催されました。

(5グループ)

- ケーキ班 ■ハーバリウム班
- ライブ班 ■ヨガ体験
- わくわく実験

## 社+学 ムトスぶらざにおける取組



ムトスぶらざは、交通の結節点であり、誰もが来訪しやすい環境となっており、日頃から大勢の高校生が利用しています。

飯田女子高校の探究学習の成果発表の場として作品展示が行われたり、創発コーディネーターマネージャー及び職員により高校生がやりたいこと等の相談窓口として機能を果たしています。



- 高校生期は、自我に目覚め、個性が伸長され、人格が形成されていく大切な時期です。
- 当地域は四年制大学が無く、高校卒業で高校生の約7割が地元を離れるという状況もあり、飯田型キャリア教育の推進の観点から、高校生へのアプローチは必要不可欠です。
- 人としての在り方、生き方についての基本的な姿勢は、その後の生き方を大きく左右していくため、高校生が地域に学び、仲間との共通経験を通じ、自身の価値観を広げていく機会が必要となります。
- 地域に誇りと愛着を持ちながら、グローバルな視点で飯田を捉え、飯田を自分の言葉で語れる・誇れる人となり、延いては次世代の飯田を担う人材・社会に貢献できる人材の育成を目指し、高校生を対象とした連続講座を実施しています。

## 【高校生講座で身に着けたい力】

## 前に踏み出す力

物事に進んで取り組む・他人を巻き込む・目的を設定し行動する

## 目の前のことに疑問をもち、考え抜く力

現状を把握し課題を明らかにする  
計画して物事を考える・想像する

## 多様な人々とともに、目標に向けて協力を力

自分の意思をわかりやすく伝える。相手の話を聞く・尊重する  
関係性を理解する・約束を守る

## 地域を理解する力

地域の歴史文化を理解し、地域を構造的にみる

## 【高校生講座で学ぶ要素】

## 大局的に学ぶ

これからの時代はリニアに代表されるような世界規模の急激な変化の波に飲まれることなく、物事を様々な方向から見る視点、地域・全国・世界に目を向ける広い視野、過去から将来までを見据えた考え方が必要であるため、地域外で起こる変化を体験することが必要。社会の変化に乗り遅れるのではなく、先を見据えて課題解決に当たって考え得る様々な選択肢を用意し、柔軟な対応ができる能力を学ぶ。

## 住民主体の地域づくりを学ぶ

地域住民のつながりの大切さを肌で感じ、一人ひとりの力を結び、地域を自らの手でつくる地域づくりが行われていることを体験する。行政だけでまちをつくるのではなく、地域に暮らす住民と協働し、個性を生かした地域づくりをすることが重要であることを学ぶ。飯田で大切に「結いの心」「ムトスの精神」をみんなで確認する。

▶令和4年度東北スタディツアー 5名の高校生が参加し現在講座を開催しています。(阿智高校2年生・飯田OIDE長姫高校2年生・飯田高校2年生・飯田高校1年生2名)

## 東北で出会った人の話から大切だと感じたキーワード 高校生の声



高校生講座報告会  
を開催します!  
令和5年3月21日(祝)  
ゲスト:石井山 竜平氏  
ほか  
(東北大学大学院教育学研究科  
准教授/日本公民館学会 副会長)

地域の資源を活用した体験的な学びを学校教育で得られる知識や技能と結び付け、探究的な学びにつなげていく。  
生徒の発達段階や各高校の特色に応じた教育に探究的な学びを無理なく組み込んでいくために、高校や地域それぞれの知見や情報を共有しながら考え合う研究会として立ち上げた。

アドバイザー：廣江彰先生（学輪メンバー、立教大学名誉教授、元東京家政学院大学学長）  
各高校より担当とする先生を選出

## 学輪IIDAによる高大連携の取組

### 1. 学輪IIDA共通カリキュラムフィールドスタディ

フィールドスタディ	参加者	高校生向け事前学習会
【導入科目】8/16～18 多様性社会＋ソーシャル キャピタル	67名 内高校生 26名	7/22 小林正夫教授（東洋大学） 福島茂教授（名城大学）
【展開科目】8/19～21 地域経済	61名 内高校生 9名	7/22 榎平龍宏教授（大月短期大学）
【実践科目】9/17～19 遠山郷エコ・ジオパーク	17名 内高校生 5名	7/3 田開寛太郎講師（松本大学）、 増田直広講師（鶴見大学短期大学部） 7/21 坂本正夫客員研究員、四方圭一郎学芸員 （飯田市美術博物館） 7/26 近藤大知学芸員（飯田市美術博物館）、 原澤主事（上村公民館）、宮田主事（南 信濃公民館）

### 2. 小諸商業高校探究型修学旅行（11月8日～11日）

- ・同高校教諭（元飯田OIDE長姫高校教諭）からの相談により実現した新たな展開。
- ・学輪IIDAフィールドスタディの知見と経験を注ぎ、当日も大学教員・学生が関わる取組。

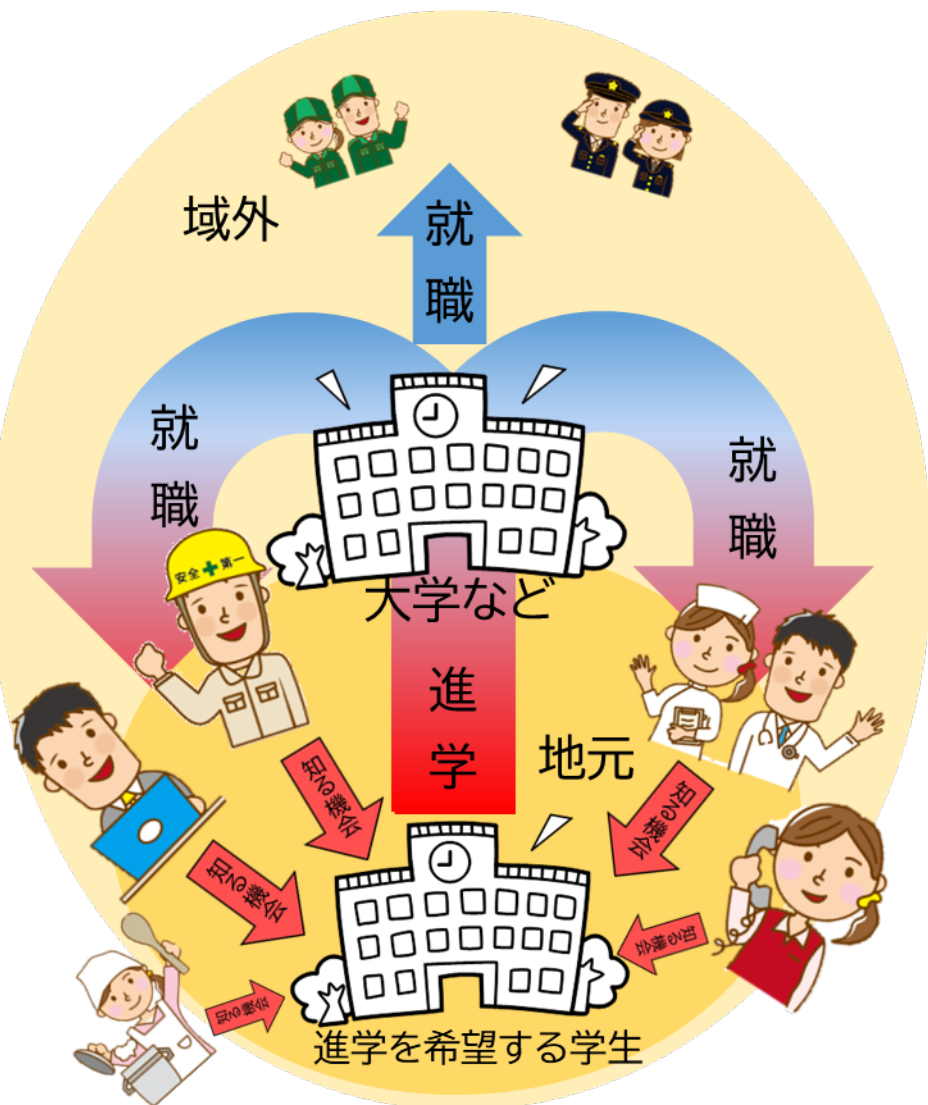
### 3. ムトスぷらざ等を活用した高大連携

- ・今年度、飯田に関わりのあった大学等の教員および学生数：延べ377名（33校）
- ・情報発信として、学輪IIDAインフォメーションコーナー（プロジェクター投影）設置予定。
- ・高校生と大学生がともに学ぶインタースクール形式の活動等、今後の展開の可能性に期待。

### 参加した高校生の声

- ・たくさんの飯田の魅力を知れて良かった。
- ・大学生の方々と関わる機会が普段ないので、とても良い経験となった。オンラインではなく、実際に会って行うことができれば良かったと思う。
- ・飯田市って思っていたよりも全然すごいまちなんだなど知ることができて楽しかった。
- ・高校生から大学生といった年齢、出身地の違う人達とのグループワークでは、自分にはない視点、視野から同じテーマについて議論することで、新たな発見がたくさんあって参加してよかった。
- ・私はこの学輪 IIDA を通して、大学生の学びを知ることができたし、なにより自分の地元に近いところでの男女共同参画社会へ向けた活動を知れたことがとてもためになった。
- ・フィールドスタディを通して飯田市の魅力や経済の現実だけでなく、地域経済の考え方や考察の方法まで学ぶことができてとても勉強になりました。

実業高校は、卒業の先に就職が見えていることから、インターンシップで地元就職に結び付けている一方、進学校では大学進学に向けたカリキュラム中心の授業となっている。しかしながらその中でも地元企業を「知る機会」を設け、進学後の就職先の一つの候補として、考えてもらうような取組を進める。



## 【令和4年度試行 飯田風越高等学校 職業学習】

日時

令和5年1月26日(木) 14時25分から16時15分

対象者

飯田風越高等学校 1、2学年生徒(約400人)

会場

飯田風越高等学校 教室等

内容

飯田下伊那の雇用の状況と就職に向けた心構え  
講師 ハローワーク飯田指導員

参加事業所

健和会病院、飯田市社会福祉協議会、飯田市役所、飯田広域消防本部、飯田市殿岡保育園、飯伊美容師会、シルクホテル中田製絲(株)、ノエル洋菓子店、旭松食品(株)

## 参加した高校生の声

- ・聞いたことのない体験のお話を聞いてその職業についてもっと興味が湧きました。
- ・飯田下伊那の会社の量にびっくりしました。
- ・世の中の情勢は変わっていくのでニュースに関心を持ちながら過ごしたい。自分自身のことを客観的に知る事の大切さを知った。
- ・飯田で働くこともいいなと思った。
- ・(人手不足で)悪い状況につながるかもしれないように人を沢山呼び込む工夫を自分たちの世代がしていくべきだと感じた。
- ・高校在学中にもっと地元企業についても見識を深めたいと思った。
- ・高校のうちから地元の会社について調べておく発想がなかったが、地元就職も考えておいて損がないと思った。
- ・自分が目指している進路とは違うけど、地元の就職や職業について知ることで視野が広がったので良かった。
- ・飯田から各地に羽ばたいていこうと思いました。



# 飯伊高校生若者平和・人権・多文化ゼミナール

戦争体験等を聞く機会の少ない高校生や若者世代を対象にして、戦争の惨禍から平和について考えるとともに、お互いの文化的ちがいを認め合うこと、公平な社会であること、人権が守られていることなど、これからの平和の在り方を主体的に学び、平和を次世代に語り継いでいくことを目的として開催。

「飯伊高校生若者平和・人権・多文化ゼミナール」主催：飯田市教育委員会

**伝えたい想い  
未来につなぐ架け橋**

「平和」と聞いて、何を思い浮かべますか？  
「平和」はずっと続くと続きますか？

過去を知り、現在を見つめ、  
共に学び、未来に発信しませんか。

■講 座：全9回（1講座約90分）  
 ■会 場：飯田市平和祈念館  
 ■開催方法：基本は対面で開催。新型コロナウイルス感染状況によりオンライン参加も可能。  
 ■対 象：平和・人権・多文化学習や地域学習に関心のある高校生、若者  
 ■参加料：無料  
 ■申し込み先・お問い合わせ先  
 飯田市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 担当：矢澤  
 電話：0265-22-4511 内線3741 メール：shougai@city.iida.nagano.jp

SUSTAINABLE GOALS

申し込み二次元コード

【第2回】5月29日（日）10時～11時30分 ・先行事例の発表、グループワーク  
 ・発表者 木村優也さん（飯田下伊那百計画実行委員会の立ち上げを通じた活動について）  
 紫芝 真さん（登戸研究所調査研究会と平和ゼミナールの活動について）

【第3回】6月12日（日）10時～11時30分 ・先行事例の発表、グループワーク  
 ・発表者 田代直巳さん（カンボジアスタディツアーを通じた貧困と教育について）  
 大平一真さん（東北支援活動、満蒙開拓、コスタリカスタディツアーを通して平和を考える活動）

【第4回】9月17日（土）13時～16時 ・フィールドワーク、グループワーク  
 ・満蒙開拓平和記念館見学（松川高校ボランティア部による展示ガイド）・寺沢秀文館長の講話

【第5回】10月15日（土）10時～11時30分 多文化理解について  
 ・発表者 岐阜聖徳学園大学留学生3人（ウズベキスタン共和国、バングラデシュ、ブラジル出身）  
 内容 各国の食文化、日本と海外での食文化の違いについて

【第6回】12月3日（土）10時～11時30分  
 ・講演「地域に根差した国際協力のためにーバングラデシュ支援から考える国際理解と国際協力ー」  
 講師：NPO法人バングラハート 代表 小笠原 一博さん

【第7回】1月14日（土）10時～11時30分  
 ・講演：「地域の環境問題、里山整備、SDGsについて」  
 講師：いなだに竹Links 代表 曾根原 宗夫さん

【第8回】2月4日（土）ふりかえり、意見交換、次年度に向けて



R4.9.17付 河北新聞（仙台市）  
でも取り上げられました



第4回 満蒙開拓平和記念館の見学  
（松川高校の生徒さんによる案内の様子）

## 参加した高校生の声

- ・ 平和とは戦争がなくなることだけではないということを知り、聞いてなるほどと納得できました。
- ・ 私達の今の行いが将来の子孫に影響すると考えると色々よく考えなければいけないと思いました。
- ・ 口に出して戦争のことを話す機会がなかったので、参加できてよかったです。また、色々な意見や考え方があり、知ることができてよかったです。
- ・ 友達と聞く、言い合う、共感することが大切だと思った。当たり前で寝る、ご飯を食べることは何よりも幸せだなと感じました。
- ・ 自分のことばかりではなく、他の世界の人、文化に目を向けていくことが大切だということを改めて学べるようになりました。

自然・美術・歴史等に関心を持つ高校生や、探究学習、キャリア教育の担当教諭に対し、社会教育機関の学芸員等がそれぞれの人生や研究等について熱く語る。このイベントを聞きに来た先生や生徒、その場に居合わせた高校生等がその話を耳にし、学芸員やその仕事を身近に感じてもらい、伊那谷の自然と文化の人材育成に繋げていく。

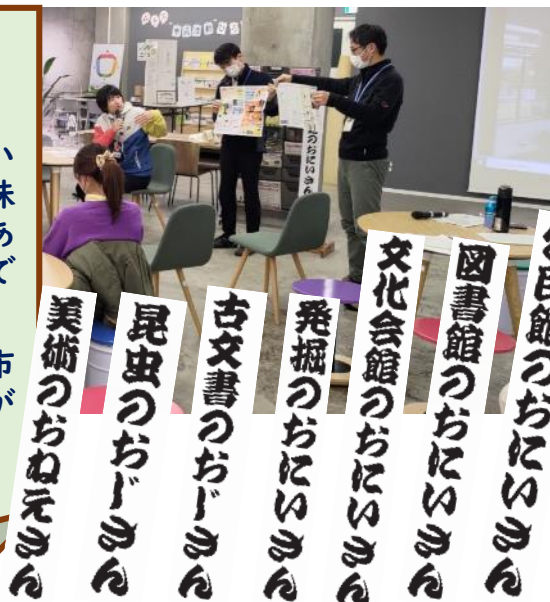


社会教育機関の学芸員らが、自らの人生、研究について学生に語り掛け、研究の道の面白さを伝える。

### 参加者の声

・たまたま通りかかったらやってみました。昆虫のおじさんの話に興味を持ちました。自然分野に興味があるので、次回もあるようなら一人でも参加しようと思います。

・チラシを見てきました。様々な市民の皆さんからマニアックなお話が聞く機会があるといいと思います。



## トークイベント🔥 オトナよ、自分を語れ。

伝えきれないけど伝えたい、それぞれの仕事やプライベート。千差万別の「これがあるから人生超楽しい」をアツク語る。

**制限時間は10分。**

※どの話も万人受けする保障はまったくありません

**日時** 令和**5**年**1**月**27**日(金)

午後**4**時**30**分から**6**時頃まで

**場所** 飯田駅前 ムトスぷらざ2階  
フリースペース

★出場予定選手★ 好き(得意)な分野がぜんぜん違う市の職員たちです

- ・美術のおねえさん
- ・昆虫のおじさん
- ・古文書のおじさん
- ・公民館のおにいさん
- ・図書館のおにいさん
- ・発掘のおにいさん
- ・教育委員会のおにいさん
- ・文化会館のおにいさん

**参加費無料・事前申込不要!**

おにいさんたちに質問もできます!お気軽におこしください \(\o/\)

※マスク着用のうえご参加ください。